

平成 25 年度 第 12 回簡易耐震化工法検討委員会WG会議 議事録 (案)

日 時：2014 年 1 月 7 日 15：00～16：30

場 所：徳島県木材利用創造センター

出席者：宮本、小杉、坂田、日下、中飯、松田、内野

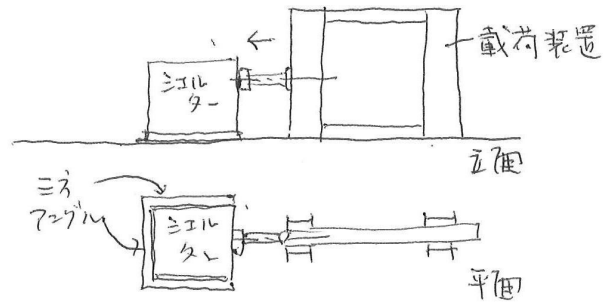
議事録：内野

【前回の議事録確認】

【シェルター】

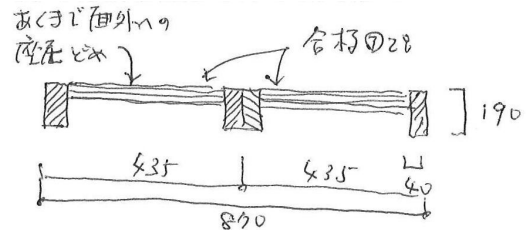
- ・ 建材試験センター西日本試験所視察の結果、実施したい実大試験が可能と判明した。
- ・ 実大試験スケジュール

- 3/9 (日) 搬入組立て
- 3/10 (月) 鉛直載荷試験準備
- 3/11 (火) 鉛直載荷試験
- 3/12 (水) 水平載荷試験準備
- 3/13 (木) 水平載荷試験
- 3/14 (金) 撤収・片付け



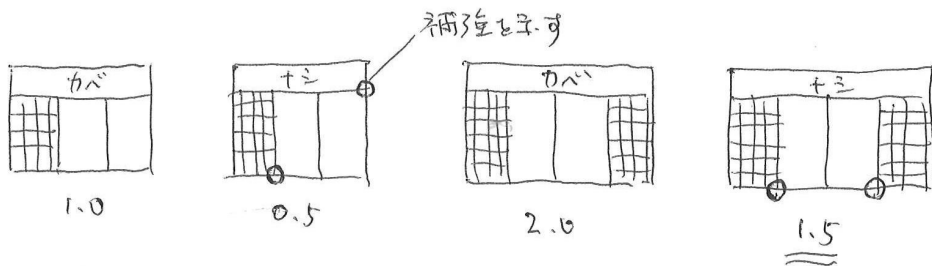
- ・ 天井パネル（半間を三分割）垂直加圧試験の結果、必要耐力の約2倍の耐力があった。現場での取り回しも考慮して梁材の成を低くして割り方を変えた「試験体-2」（半間を二分割）での予備試験を、山口での実大試験に先んじて 1/23 に行う（宮本先生不在）。小梁材はS B材 40\*190 を用いる。試験体は継ぎ手アリで 5 体。1 月中には全ての部材が発注できるようにすすめる。

- ・ 宮本先生検討結果、今週中に日下さんへ。



【耐震建具】

- ・ 12/20 試験の結果を、マニュアルにどう反映させるか。単純なほうがよい。
- ・ 耐震建具で壁量を上げる→ダンパーとして評価できないか。京町屋は、ダンパーを入れることで耐震化と認めている。マニュアルなどないか調べる。
- ・ 現行耐震障子は少し固すぎる。次は薄いタイプを検討したい。
- ・ 行政からの補助金は、耐震評点など数値で表せるものでないと補助対象とする事は困難。



【その他】

- ・ 建具事業とシェルター事業の間での調整は可能。
- ・ 次回会議は 1/24 10：00～
- ・ 来期があれば・・・ダンパーとしてどうか／うすい耐震障子開発／耐震評価手法の拡大→補助金基準の拡大／そのために、京町屋他、他行政の事例研究・・・